

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	作成者	神田 一輝
作業名称	舗装打換工(人力)		作業手順書	作成年月日	令和2年3月31日
使用機械 使用設備	バックホウ(0.2m ³)、3tダンプ2台、Wピック、4tコンニク			改正年月日	令和3年9月21日
				現場責任者	
使用工具、機器	ブレーカ(21.2kg)、プレートコンパクタ(70kg)、カッター機、コンプレッサー(1.56m ³ /min)			協力会社	会社名
	ハンドローラー、スコップ、レーキ、ほうき			協力会社責任者	自筆サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着			作業順序	
材料	As混合物 密粒度13mmF...0.5~3.0t As乳剤...1.0~6.0ℓ			1 現地確認	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(大型特殊)			2 準備作業	
	特別教育:職長・振動工具取扱・ローラー運転特別教育			3 墨出し・マーキング	
	技能講習:車両系建設機械・小型移動式クレーン			4 切削工	
作業人員	職長 1人、作業員 4人、保安員 2人			5 がら回収・清掃工	
	合計 7名			6 乳剤散布	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日	令和2年11月25日	
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)				

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知					十分に訓練をした対策が必要

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						(防止対策)
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
墨出し・マーキング(職長)	施工箇所のマーキング	点検ハンマーで再度現場確認	点検・調査中、作業車にひかれる	○	×	○×	3		正対方向で作業を行うこと。また、退避場所の確認やハンドル切・輪留め・サイドブレーキを確実に行う。
切削工(作業員)	墨出し範囲をブレーカー及び手押しカッターで切削	所定の幅、深さに十分注意する	手押しカッター使用時、埋設ケーブルを損傷させる 振動工具の連続使用で振動障害になる はつり片が飛散し、作業車・作業員へ当たる	△	×	○×	3		埋設ケーブルの確認を確実に実施。敷設された場合は協議及び立ち合いを実施する事
清掃工(作業員)	切削後、バックホウ・ほうき等で廃材を回収する 回収した廃材をダンプに積み込む	廃材の取り残しが無いか複数目で確認する 廃材をこぼさぬよう気をつける	作業員とバックホウのブームが接触し、怪我をする 重機を操作中、他の作業員や車両・機械と接触する	○	△	○△	2		作業員とバックホウの間隔を2m以上保つ。 運転手は基本前進で進むこととし、車両をバックで移動させる際は必ず誘導員を設け、指示に従う
乳剤散布(作業員)	人力にてAs乳剤の散布を行う	しつかり養生を行い、不純物が付着しないようにする 塗り残しは無いか確認する	乳剤が飛散し、目や口に入る 切削後の段差でつまず転倒する	△	△	△△	3		作業中は防護メガネ・マスクを着用する。また、飛散防止ネットを設置する。 段差ができていところは明るさを保ち、足元に注意する。
舗設工(作業員)	レーキ、スコップを用いて、アスファルト混合物の敷き均しを行う	規定値の品質・温度を確保できているかの確認 舗設時は幅、高さに注意する	スコップ等の道具が他作業員へ当たり、怪我をする 路肩に置いた養生テープやスプレー缶、台車などが転がり、転倒の原因となる	△	○	△○	2		安全靴・脚絆・視認性の良い服装を着用させる 転がりやすい道具等は全て工具箱へ入れ、台車は車輪ロックを確実にし、輪留めを設置する。
転圧工(作業員)	順次後方からハンドローラーを用いて転圧を行う 端部はプレートを用いて確実に締め固めを行う	急なハンドル切りをしないよう注意する 規定値通りの回数にて転圧作業を行う	プレート等の重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める 作業員とハンドローラーが接触し、怪我をする	×	○	×○	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。 ハンドローラーとの間隔を5m以上保つ。
開放温度測定	表面温度40℃以下であることを確認する								
後片付け(全員)	清掃作業を行う	ほうき、プロアー、ハンドスワイパーで清掃する							工事車両を除外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事